

食料・環境系高度専門実践技術者養成
(スペシャリスト・ゼネラリスト融合型
人材育成 HiSuper プログラム)

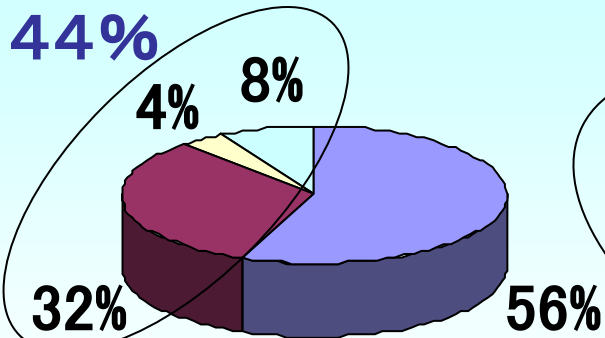
HiSuper (Hiroshima Step Up Program by Educational Record)

教育記録システムについて

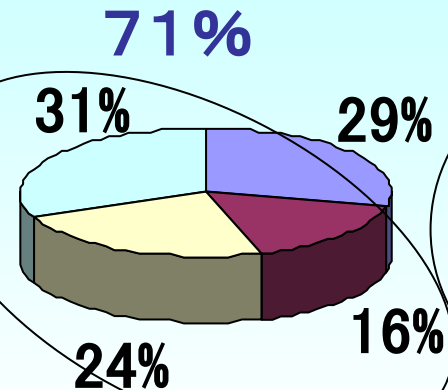
広島大学大学院生物圏科学研究科
古澤 修一

入学者の構成

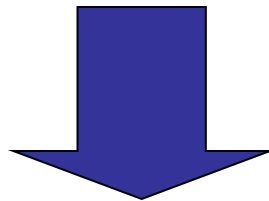
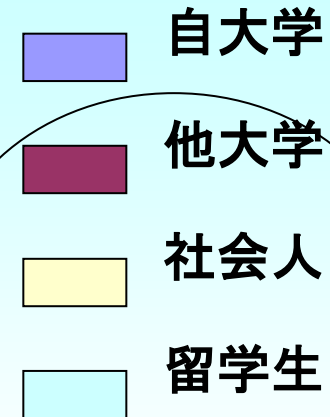
最近3年間の入学者状況



(前期課程)



(後期課程)



多様な能力・進路・将来設計
をもつ学生の混在

多様な学生に対する多様な授業科目の提供

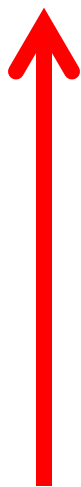
食料・環境系高度専門実践技術者・研究者の養成

スペシャリスト

ゼネラリスト



応用へ



実践科目の導入による応用展開能力の習得

補完科目：
専攻分野の基礎知識を補完する
学士課程の科目
(6単位まで)

専門基礎科目：
専門分野の
基礎となる科目








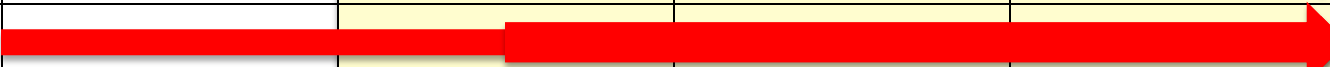








必修科目

オーダーメイドカリキュラムの作成

- ・特別研究
- ・4研究科共同セミナー

共通基礎科目

基礎から

項目	20年度以前	大学院GP支援該当年度		
		20年度	21年度	22年度
カリキュラムの構築				
サブセメスター制度				
紙の教育記録				
web教育記録システム開発				
web教育記録システム実施				
eラーニング支援				
TOIEC支援				
国際学会発表支援				
国外インターンシップ支援				
院生会支援				
院生と連携企業との交流会				
英文校閲支援				
TA・RAの教育経験支援				
シンポジウムの開催				
サマースクール				
教育改革のFD				

教育記録システムによるプロセス管理の徹底

自己目標の明確化

指導目標の明確化

学生

各セメスター終了時
に面談実施

複数指導教員

- ・入学時の学生の学習歴
- ・TOEIC等の証明書
- ・基礎学力(自己診断)
- ・志望分野

- ・各セメスターの目標
- ・特別研究の進行記録
- ・履修科目成績
- ・共同セミナー報告書

- ・中間発表会資料
- ・学会発表記録
- ・その他特記事項

- ・学生の基礎力評価
- ・履修指導・研究指導の方針決定

- ・ステップ目標の到達度評価
- ・特別研究の進行度の評価
- ・履修科目の評価と点検
- ・共同セミナー報告書の評価

- ・中間発表の評価
- ・優れた点, 今後伸ばすべき点の記載

学生の自立的な修学能力の育成

教員の指導力の向上

左(学生用) (1枚目)

初期情報(1) 出身大学成績証明書(コピー)
志望理由

右(教員用) (1枚目)

初期情報(1) 大学院で必要と思われる科目又は分野
研究題目

(2枚目)

初期情報(2)

履歴書

入学試験成績

TOEIC等の証明書

(2枚目)

初期情報(2)

補充すべき

教育科目

学問分野

専門分野

技術分野

副指導教員の選定

ステップ1M (4~9月)

研究計画(要旨)

履修計画

履修科目成績

ステップ1M (4~9月)

研究計画に対する助言

履修計画に対する助言

(4枚目)

ステップ2 M(10~2月)

希望進路

履修計画

履修科目成績

就職活動状況

エントリー会社等

1次試験

2次試験

ステップ2 M(10~2月)

希望進路に対する助言

履修計画に対する助言

就職活動状況に対する助言

(5枚目)

ステップ3 M(4~8月)

履修計画書

中間発表要旨

履修科目成績表

就職活動状況

1次試験

2次試験

最終面接

修士論文の章立て(案)

ステップ3 M(4~8月)

履修計画書に対する助言

中間発表要旨に対する助言

就職活動に対する助言

修士論文の構成に関する助言

(6枚目)

ステップ4 M(10～2月)

履修計画書

修士論文題目案

修士論文草稿の提出日

修士論文発表要旨

履修科目成績表

進路決定状況

ステップ4 M(10～2月)

履修計画に対する助言

修士論文題目

修士論文草稿に対する評価

修士論文に対する評価

修士論文に発表に対する評価

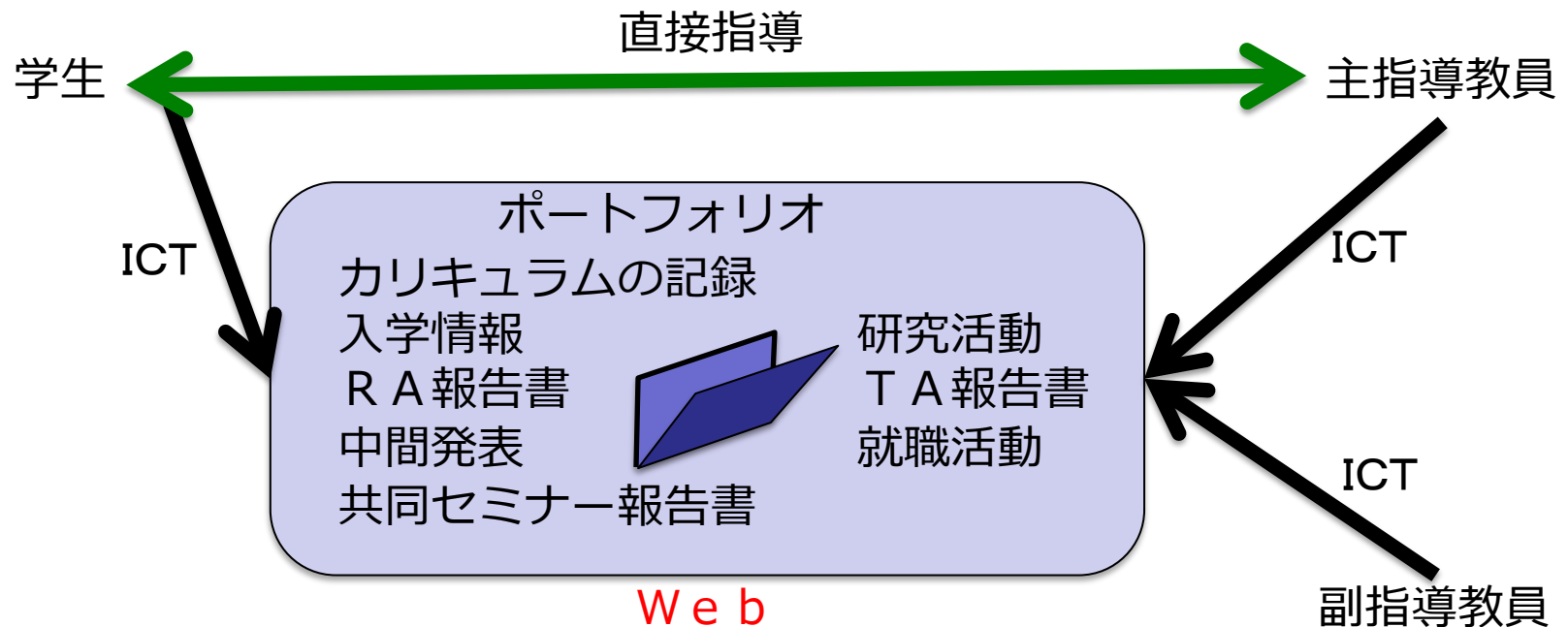
指導記録総合所見

Learning portfolio

教育記録システムは、**学生の学習過程や学習成果に関する資料や情報を記録するためのシステム**です。

多様なバックグラウンド・多様な目的を持った学生が設定した到達目標を確実に成就するために、**学生と主・副指導教員が Web 上で、講義の選択状況、研究の進捗状況、論文の準備状況などを常に記録・確認することができます。**

このシステムでは、到達目標の設定に必要な講義科目の選定や研究計画の立案などに対する、学生と主・副指導教員間の相互討論も可能です。またWeb上で使うシステムですので、学生からの質問や相談、それに対する教員からの回答や助言も時間・場所を問わずに行うことができます。





はじめに	P 2
1. ログインと TOP 画面	
1.1 ログインのしかた	P 5
1.2 学生情報一覧	P 6
1.3 プロフィール画面	P 8
1.4 管理者へのメール	P 9
1.5 カレンダー	P 10
1.6 学生の画面	P 12
2. 教育記録システムのコンテンツ	
2.1 入学時提出書類	P14
2.2 履修計画	P15
2.3 研究計画	P16
2.4 スレッド式コンテンツ	P17
2. コメントの書き方とファイルのアップロード	
2.1 コメントの書き方	P20
2.2 ファイルのアップロード	P23

日本語マニュアル

はじめに



教育記録システムとは

教育記録システムは、学生の学習過程や学習成果に関する資料や情報を記録するためのシステムです。多様なバックグラウンド・多様な目的を持った学生が設定した到達目標を確実に達成するために、学生と主・副指導教員がWeb上で、講義の選択状況、研究の進捗状況、論文の準備状況などを常に記録・確認することができます。このシステムでは、到達目標の設定に必要な講義科目の選定や研究計画の立案などに対する、学生と主・副指導教員の相互討論も可能です。またWeb上で使うシステムですので、学生からの質問や相談、それに対する教員からの回答や助言も時間・場所を問わずに行うことができます。



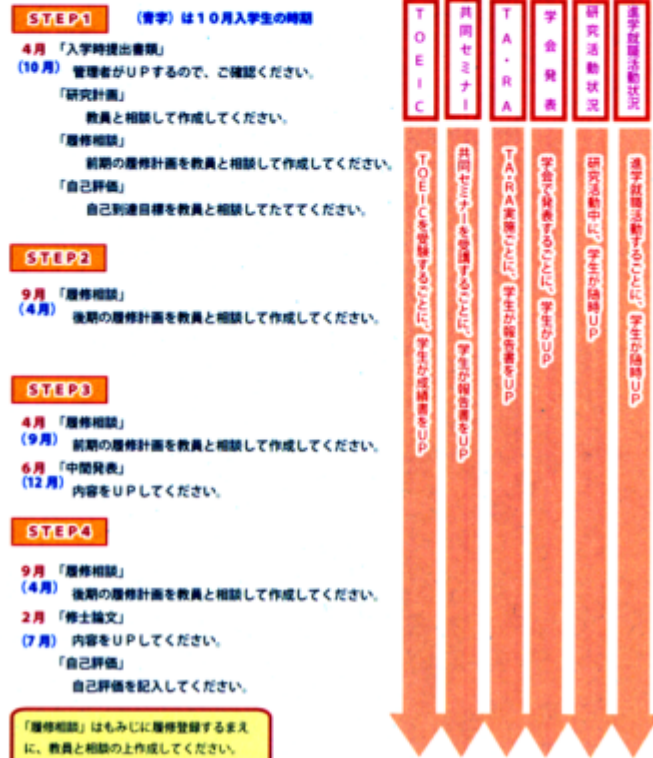
教育記録システムの流れ

- STEPについて
マスターは、半年ごとにSTEPが進みます。
2年間で4STEPです。

M1		M2	
1セメ	2セメ	3セメ	4セメ
STEP1	STEP2	STEP3	STEP4

- 利用の概要
このシステムでは、12この箱が用意されており、そのそれぞれに学生(入学時提出書類は管理者)が記録を作っていきます。それに対して教員がコメントをつけ、振り返りのためにそれらのやり取りを残しておくようになっています。

12この箱を、このシステムでは「コンテンツ」と呼びます。コンテンツには、以下のものがあります。「履修相談」「入学時提出書類」「研究計画」「研究活動状況」「進学就職活動状況」「学会発表」「TOEIC」「共同セミナー報告書」「T・A・R・A」「中間発表」「修士論文」「自己評価」
これらをどのタイミングで作成していくかを以下に示します。



マスターの画面

ドクターの画面

Learning Portfolio
 教育記録システム

教員番号	氏名	職階	専攻	教育科目
73781803	古澤 修一	教授	生物機能開発学	免疫生物学

ログアウトまで残り **29:45**
[登録者へメール](#)
[よくある質問](#)
[ログアウト](#)

教育記録システムのメニュー
[プロフィール編集](#)

氏名: 広子さんのトップ画面

STEP 1

STEP 2

STEP 3

STEP 4

研究計画

Research Plan

編集済 Editing

履修計画

Course Plan

編集済 Editing

研究活動状況

Work in Progress

編集済 Editing

進学就職活動状況

Postgraduation or Career Plans

未編集 Unedited

TOEIC TA-RA

共同セミナー 報告書

Joint Seminar Reports

編集済 Editing

学会発表

Presentation at Conferences

未編集 Unedited

未入力項目
 編集済、又は継続的な項目
 指導教員によるチェック待ちの項目
 入力完了済みの項目

Learning Portfolio
 教育記録システム

教員番号	氏名	職階	専攻	教育科目
73781803	古澤 修一	教授	生物機能開発学	免疫生物学

ログアウトまで残り **29:56**
[登録者へメール](#)
[よくある質問](#)
[ログアウト](#)

教育記録システムのメニュー
[プロフィール編集](#)

氏名: 広子さんのトップ画面

STEP 1

STEP 2

STEP 3

入学時提出書類

Enrollment Documents

編集済 Edited

研究計画

Research Plan

編集済 Editing

2010/10/13 12:52...研究計画について

履修計画

Course Plan

編集済 Editing

2010/10/13 16:34...わかりました

2010/10/13 12:53...履修計画について

研究活動状況

Work in Progress

編集済 Editing

2010/10/15 16:46...取れました

2010/10/15 16:45...lgA

2010/10/13 12:55...履修について

就職活動状況

Career Plans

編集済 Editing

2010/10/13 12:56...インターンシップ..

2010/09/24 13:17...おつかれさま

TOEIC TA-RA

共同セミナー 報告書

Joint Seminar Reports

編集済 Editing

2010/10/15 14:43...後期に

2010/10/13 12:57...共同セミナーにつ..

学会発表

Presentation at Conferences

編集済 Editing

2010/10/13 13:32...懇談会

2010/10/13 12:59...報告書

博士論文

Doctoral Thesis

未編集 Unedited

未入力項目
 編集済、又は継続的な項目
 指導教員によるチェック待ちの項目
 入力完了済みの項目

履修計画の画面

共同セミナー報告書の画面



学習番号 氏名 職階 専攻 教育科目
73781803 古澤 修 教授 生物機能開 免疫生物
発学 学

ログアウトまで残り **29:46**

[教育記録システムのマ](#)
[ニュアル](#)
[よくある質問](#)
[プロフィール編集](#)
[ログアウト](#)

STEP2d さんの「履修計画」

[トップ](#) > [履修計画](#)

STEP2dに履修計画をたててください。
主指導教員のチェックを受けた履修計画を、もみじへ登録してください。

学籍番号/氏名 [学籍番号](#) [氏名](#)

作成日 2010-04-26 14:56:06

更新日 2010-10-04 13:39:31

曜日	時期	授業	希望する理由と目標
月	1-2		
	3-4		
	5-6		
	7-8		
	9-10		
火	1-2		
	3-4	応用免疫学	専門のため
	5-6		
	7-8		
	9-10		
水	1-2	General Biosphere Science(2)	必要だと思ったため
	3-4		
	5-6		
	7-8		
	9-10		
木	1-2		
	3-4	応用微生物学	興味があったため
	5-6		
	7-8		
	9-10		
金	1-2		
	3-4		
	5-6		
	7-8		
	9-10		

集中講義

コメントを投稿

タイトル

本文

ファイル [選択...](#)

操作 [コメントを書き込む](#)

履修計画に関するコメント

履修計画について

了解しました。

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-10-05 12:52:37

履修計画について

変更しました。確認をお願いします。

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-10-04 13:38:50

履修計画について

英語の講義は、必ず高くなることでしょう。

この履修計画で認めます。

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-09-30 19:29:49



学習番号 氏名 職階 専攻 教育科目
73781803 古澤 修 教授 生物機能開 免疫生物
発学 学

ログアウトまで残り **29:41**

[教育記録システムのマ](#)
[ニュアル](#)
[よくある質問](#)
[プロフィール編集](#)
[ログアウト](#)

さんの「TOEIC・共同セミナー・TA・RA報告書」

[トップ](#) > [TOEIC・共同セミナー・TA・RA報告書](#)

TOEICを受験したら、その成績をデータで貼り付けてください。
共同セミナーを受講したら、報告書をUPしてください。
TA・RAを実施したら、報告書をUPしてください。

現在のスレッドの一覧

スレッド名	作成日時	更新日時	トピック数
共同セミナー報告書	2010-09-29 16:54:11	2010-09-29 16:54:11	6件
TA報告書	2010-12-16 16:50:28	2010-12-16 16:50:28	1件

スレッド・トピックは学生のみが追加できます。

最近の「TOEIC・共同セミナー・TA・RA報告書」の一覧

全7件中 0件~7件を表示

【TA報告書】：TA報告書

TAの業務が終了しましたので報告いたします。

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-12-16 16:52:44 コメント: 0件

【共同セミナー報告書】：6枚目

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-11-26 23:01:17 コメント: 1件

【共同セミナー報告書】：5枚目

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-10-22 23:04:20 コメント: 2件

【共同セミナー報告書】：4枚目

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-10-21 13:27:37 コメント: 1件

【共同セミナー報告書】：3枚目

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-10-21 13:24:15 コメント: 0件

【共同セミナー報告書】：2枚目

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-10-21 13:23:48 コメント: 0件

【共同セミナー報告書】：1枚目

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-10-21 13:23:05 コメント: 0件

全7件中 0件~7件を表示

研究計画の画面



Learning Portfolio
教育記録システム

教員番号	氏名	職階	専攻	教育科目
73781803	古澤 修一	教授	生物機能開発学	免疫生物学

ログアウトまで残り **29:56**

[管理画面へメール](#)
[よくある質問](#)
[ログアウト](#)

トップ > [研究計画](#)

研究計画は全STEP分を最初からまとめて記入してください。
たてた計画に指導教員のチェックを受けてください。

研究テーマ	内容
M1前期	AsiagP遺伝子のクローニングとそれに関するモノクローナル抗体の作成。
M1後期	AsiagP遺伝子の塩基配列決定を行う。大腸菌を用いてAsiagP遺伝子の発現とタンパク質の作成を行う。これをマウスに接種し、モノクローナル抗体を作成する。
M2前期	AsiagP抗体の生成を確認する。AsiagP抗体を用いてAsiagP遺伝子の塩基配列決定を行う。AsiagP遺伝子の塩基配列決定を行う。
M2後期	AsiagP抗体に関するモノクローナル抗体を作成し、塩基配列決定を行う。データのまとめ、発表を行う。学会論文を作成する。

作成日時: 2010-04-26 14:58:06
更新日時: 2010-07-14 16:56:39
状態: 編集済

コメントを投稿

タイトル:

本文:

ファイル:

操作:

研究計画に関するコメント

投稿者の作成

投稿者: [古澤 修一](#) 更新日: 2010-09-30 19:31:29

学会発表の画面



Learning Portfolio
教育記録システム

教員番号	氏名	職階	専攻	教育科目
73781803	古澤 修一	教授	生物機能開発学	免疫生物学

ログアウトまで残り **29:52**

[管理画面へメール](#)
[よくある質問](#)
[ログアウト](#)

トップ > [学会発表](#)

学会等で発表した内容や、感想などを書いてください。

現在のスレッドの一覧

スレッド名	作成日時	更新日時	トピック数
免疫学会	2010-10-05 15:47:40	2010-10-05 15:47:40	2件

スレッド・トピックは学生のみが追加できます。

最近の「学会発表」の一覧

全2件中 0件～2件を表示

【免疫学会】：学会の報告書

報告書をUPします。
投稿者: [広大 もみじ](#) 更新日: 2010-10-05 15:49:12 コメント: 1件

【免疫学会】：免疫学会に行きました

発表予定です。
投稿者: [広大 もみじ](#) 更新日: 2010-10-05 15:48:24 コメント: 1件

全2件中 0件～2件を表示

教員が学生を一括して見る画面

Learning Portfolio
教育記録システム



教員番号	氏名	職階	専攻	教育科目
73781803	古澤 修 一	教授	生物機能開 発学	免疫生物 学

ログアウトまで残り **29:52**

[教育記録システムのマ
ニュアル](#)
[プロフィール編集](#)

[管理者へメール](#)
[よくある質問](#)
[ログアウト](#)

担当の学生情報一覧

画面の色の説明について ■：未編集 ■：編集済 ■：確定済み

入学 年	課程 /学年	専攻	教育 科目	学生番号 氏名	指導 教員	入学時提出 書類	研究計画	履修計画	研究 活動 状況	進学 就職 活動 状況	TOEIC・ 共同セミ ナー・T.A. RA報告書	学会 発表	中国 発表	修士 論文	現在 の ステ ップ	在籍 状態
2010	D2	生物機能開発学	その他		古澤修二	View 2010/09/21 16:29:11	View 2010-11-09 15:57:53	View 2010/09/10 15:03:26	View	View	View	View	View	View	 2	在学中
2010	M1	生物機能開発学	その他		古澤修二	View 2010/04/14 11:59:13	View 2010-07-29 14:58:26	View 2010/07/23 10:13:20	View	View	View	View	View	View	 2	在学中
2010	M1	生物機能開発学	免疫生物学		古澤修二	View 2010/05/24 11:11:34	View 2010-07-14 16:56:39	View 2010/10/04 13:39:31	View	View	View	View	View	View	 2	在学中

学生用

主指導教員用

副指導教員用

修士論文題目届
(教員の確認印)

修士論文研究計画報告書

修士論文研究計画への助言内容A

修士論文研究計画への助言内容B

修士論文中間発表会

修士論文中間発表報告書

修士論文中間発表への助言内容A

修士論文中間発表への助言内容B

修士論文要旨

修士論文への助言表

修士論文への助言表A

修士論文への助言表B

修士論文発表会

修士論文審査・
最終試験結果報告書

修士論文審査・最終試験結果報告書A

修士論文審査・最終試験結果報告書B

学務委員会で審議



教授会で承認



修士論文題目届

平成 年 月 日 提出

学生番号	M	ふりがな 氏名	
専攻	専攻		
学位の種類	修士(学術) ・ 修士(農学) (該当の学位を囲むこと。)		
論文題目 (外国語の場合は、 和訳を付すこと。)			

<以下は主指導教員が記入する。>

修士論文審査委員の推薦			
下記のとおりに推薦します。		主指導教員 氏名	 確認印 又は サイン
主査		委員	
委員		委員	

注) 論文審査委員会は、主指導教員及び主指導教員に推薦された教員2名以上によって構成されます。

提出メ切は(9月修了の場合:4月15日まで、3月修了の場合:10月15日まで)

修士論文中間発表報告書

(主指導教員用)

生物資源科学専攻 生物機能開発学専攻 環境循環系制御学専攻

平成 年 月 日

学生番号	氏名	論文題目	主指導教員
M			
助言内容			



広島大学

修士論文中間発表への助言内容

(副指導教員用)

生物資源科学専攻 生物機能開発学専攻 環境循環系制御学専攻

副指導教員氏名

平成 年 月 日

学生番号	氏名	論文題目	主指導教員
M			
助言内容			

修 士 論 文 要 旨







専攻名: _____ 専攻

学生番号	氏名	論文題目	主指導教員

--

修士論文審査・最終試験結果報告書

専攻 平成 年 月 日提出

学生番号	氏名	論文題目	主指導教員
要旨	<修士論文審査・最終試験結果>		
	学位の種類 修士(農学) ・ 修士(学術)		
	論文審査 合格 ・ 不合格		
最終試験 合格 ・ 不合格			
審査委員	(主査) 	(委員) 	
	(委員) 	(委員) 	
	(委員) 	(委員) 	

*この報告書と副査からの修士論文審査・最終試験結果報告書とを合わせて学生支援室に提出してください。

修士論文審査・最終試験結果報告書

(副査用)

生物資源科学専攻 生物機能開発学専攻 環境循環系制御学専攻 副査氏名
平成 年 月 日

学生番号	氏名	論文題目	主査
M			
論文審査	合格 ・ 不合格		
最終試験	合格 ・ 不合格		
不合格とする場合は、その理由を記入してください。			

*主指導教員へ提出してください。

Learning portfolio

教育記録システム（ラーニングポートフォリオ）は、学生の学習過程や学習成果に関する資料や情報をWeb上に記録し、省察するためのものです。

多様なバックグラウンド・多様な目的を持った学生が設定した到達目標を確実に成就してもらうために、学生と主・副指導教員がWeb上で、講義の選択状況、研究の進捗状況、論文の準備状況などを常に記録・確認できるようにしています。

学習の初めに、主・副指導教員の指導を受けて個々の学生の修了時点の到達目標を設定し、ステップごとおよび修了判定時期に、最初の目標にどのくらい到達したかの省察を学生自身で行って下さい。学生の省察に対する教員コメントも記録します。

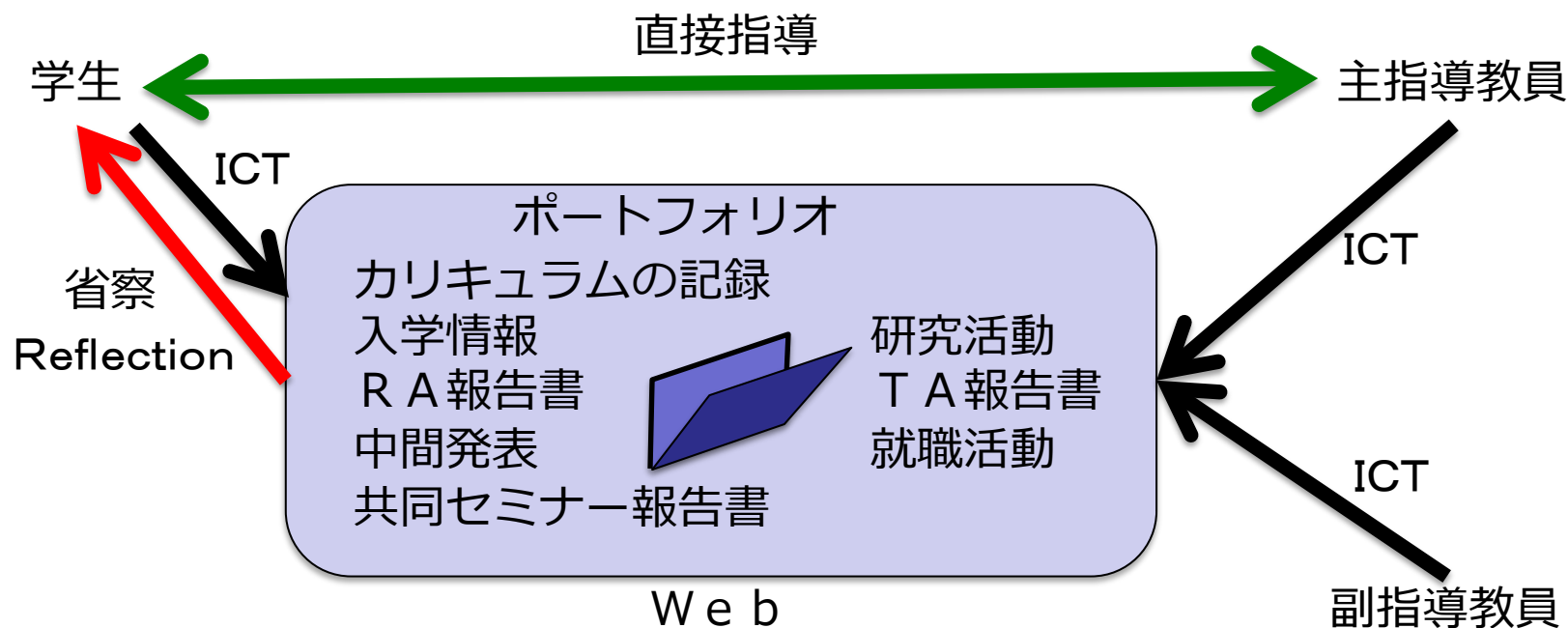
このシステムは、Web上で使用するものなので、研究データの記録、学生からの質問や相談、それに対する教員からの回答や助言、各ステップでの省察を、時間・場所を問わずに記録することができます。

教育記録システム（ラーニングポートフォリオ）は、**学生の学習過程や学習成果に関する資料や情報をWeb上に記録し、省察する**ためのものです。

多様なバックグラウンド・多様な目的を持った学生が設定した到達目標を確実に成就してもらうために、**学生と主・副指導教員がWeb上で、講義の選択状況、研究の進捗状況、論文の準備状況などを常に記録・確認**できるようにしています。

学習の初めに、主・副指導教員の指導を受けて個々の学生の修了時点の到達目標を設定し、ステップごとおよび修了判定時期に、最初の目標にどのくらい到達したかの省察を学生自身で行います。学生の省察に対する教員コメントも記録します。

このシステムは、Web上で使用するものなので、研究データの記録、学生からの質問や相談、それに対する教員からの回答や助言、各ステップでの省察を、**時間・場所を問わずに記録**することができます。



目標	指標	達成度	自己評価	総合自己評価	教員総合評価	
卒業までに達成したい事柄を記入してください	各種項目	STEP	最初に設定した目標に対するSTEPごとの自己評価を記述してください。	目標に対する総合的な自己評価を記述してください。	学生の設定した目標を鑑み、総合的評価を記述してください。	
免疫生物学の分野で基礎的な知見に照らし合わせて課題を抽出できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○研究室ゼミでの質疑討論 ○教員との研究打合せ、 ○関連論文の読解、 ○研究結果からの考察、 ○今後の課題発見 	1 30	自発的に課題を発見することは出来なかった。			
		2 70	自発的に課題を発見できるようになった。			
		3				
		4				
知識・理解	分子生物学の分野で基礎的な知見に照らし合わせて課題を抽出できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○研究室ゼミでの質疑討論 ○教員との研究打合せ、 ○関連論文の読解、 ○研究結果からの考察、 ○専門性の高い履修科目の成績の平均 	1 30	自発的に課題を発見することは出来なかった。		
			2 70	自発的に課題を発見できるようになった。		
			3			
			4			
広い生命系の分野で、基礎的な知見に照らし合わせて課題を抽出できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○研究室ゼミでの質疑討論 ○教員との研究打合せ、 ○関連論文の読解、 ○研究結果からの考察、 ○今後の課題発見 ○共同セミナーの成績 ○学際性の領域に関する学業成績 	1 80	多様な講義を受講して、知識、応用展開能力を養えた。			
		2 90	多様なセミナーに参加して課題抽出のための基礎的知識を得た。			
		3				
		4				

身につけたいスキル	指標	達成度		自己評価	総合自己評価	教員総合評価
卒業までに達成したい事柄を記入してください	各種項目	STEP	達成度	最初に設定した目標に対するSTEPごとの自己評価を記述してください。	目標に対する総合的な自己評価を記述してください。	学生の設定した目標を鑑み、総合的な評価を記述してください。
英語を使用した国際感覚を身につける。	○TOEICの点数、 ○eラーニングの時間数、 ○国際学会での発表、 ○外国語でのプレゼン	1	50	TOEICの点数は向上したが、英語ではうまく説明できなかった。	用意してきた言葉は話せるが、質疑応答ではまだまだ英語力の不足を感じた。	英語力の不足を感じるので、外国人と積極的に研究内容について会話することで、なお一層のスキルが身に付くと判断する。
		2	70	英語での質疑応答が出来るようになった。		
		3				
		4				
実践的能力 各種の技術と機械操作、およびそれらの原理を理解する。	○フローサイトメーター、 ○シーケンサー、 ○その他の機器	1	70	シーケンサー、リアルタイムPCRを使いこなせるようになった。		
		2	80	フローサイトメーターおよびFACSの原理を理解して使用できるようになった。		
		3				
		4				
原著論文として研究内容を報告する。	○論文草稿の仕上がり程度、 ○出来上がった原著論文の数	1	0	論文のデータが出来上がっていない。		
		2	20	論文のMaterials and Methodsを書き始めた。		
		3				
		4				